

## 令和4年度 第2回学校運営協議会 報告

6月24日(金)、本校を会場に第2回学校運営協議会が開催されました。今回は地域探究授業の内容について共有したあと、実際の授業を視察しました。生徒たちが自らの課題を主体的に解決しようとする姿が印象的でした。あわせて、地域探究授業を担当する教職員等へヒアリングを行い、生徒の確かな成長や持続的な地域探究授業への課題を共有し、本校ならではの地域探究授業に向けて協議を行いました。大変充実した2時間となりました。



- 視察を踏まえた委員の意見等を別紙にまとめました。ご覧ください。

(別紙)

視察を踏まえた委員の意見等

1 生徒のようす

- ・ 想定以上に問題点を研究し、改善策を具体的に検討していた。
- ・ ハイレベルな調査を行っているグループもあった。必要感、充実感、達成感を感じているようだ。
- ・ 1年生のときよりも成長している姿が見て取れて嬉しかった。
- ・ 生き生きと活動し、質問に対する回答もすばらしかった。

2 教員のようす

- ・ 教員間の連携がすばらしかった。
- ・ 生徒に寄り添い、生徒がしたいことを実現させようとサポートしていた。
- ・ 教員の支援の仕方がともに解決していこうという雰囲気であり、生徒の主体性を尊重し、生徒が自力で解決できた達成感を得られるような支援をしており、大変参考になった。
- ・ 学校内外の話や考え方に会え、成長につながるようにサポートしていた。

3 地域探究の感想・意見・提案

- ・ 自分たちの地域を知ろうとすることができている。
- ・ 3年間地域探究授業ができるということは、じっくり考えが深められることであるので、いいことだと思う。
- ・ 昨年度、成功体験を得た生徒たちが生き生きとしていた。町や議会などと共通の課題をもつ生徒とをマッチングさせたい。
- ・ 地域探究授業の活動内容の校外への発信を強化したい。
- ・ 生徒たちには「やらされ感」が全くなかった。猪苗代高校の特色ある活動の一つである。必要感、充実感、達成感を感じさせることで継続性が生まれ、自主性や主体性が育まれていくと思う。
- ・ 教員の負担も大きいと思うが、生徒たちの成長を楽しみに頑張ってもらいたい。
- ・ どう評価するかは課題になる可能性がある。(生徒の成長の視点・地域への貢献の視点)